



2026年3月期 第1四半期

決算説明

2025年8月7日
いすゞ自動車株式会社

説明内容

1. 全体総括

2. 2026年3月期 第1四半期実績

※当社は、25年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しています。
このため、本資料では、25年3月期・26年3月期ともにIFRSに基づいて作成しています。

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その性質上、情報の正確性を保証するものではありません。また、当社は、これらの将来の業績および計画その他将来の情報等に関する記述につき、将来の事象および最新の情報等に基づいて随時更新する義務を負いません。

従いまして、本資料におけるかかる仮定および判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化、自動車市場の変化、為替変動、会社の経営環境の変化などを含む種々の要因によって、本資料に記載された情報は影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料に記載された情報に基づいて投資された結果、何らかの損害を被られましても、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

1. 全体総括

全体総括 '26年 3 月期 第 1 四半期実績

ISUZU

■損益：台数増・価格対応によるプラスあるも、為替影響・仕向構成の悪化・資材費等の上昇によるマイナスが上回り減益
■CV：国内は想定線での台数増、海外は北米が在庫調整により台数減も、中近東・アフリカを中心に台数増
■LCV：タイ／輸出共に台数増、タイは厳しい市況が続くも、在庫調整を実施していた前年同期からは台数増

※当社は、25/3 期の有価証券報告書における連結財務諸表から、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しているため、25/3 期・26/3 期ともにIFRSに基づき作成しています。

						<参考値>			
グローバル販売台数 (千台)						'25/3-1Q (IFRS)	'26/3-1Q (IFRS)	増減	'25/3-1Q (日本基準)
CV計	国内	18	20	+2	+15%	18	為替実績		
	海外	52	59	+7	+12%	52	USD/JPY	155.8	144.5 ▲11.3
		70	79	+9	+13%	70	AUD/JPY	102.7	92.7 ▲10.0
LCV計	タイ	7	13	+6	+84%	7	EUR/JPY	167.8	163.9 ▲3.9
	輸出	49	50	+1	+3%	49	THB/JPY	4.25	4.37 +0.12
		56	63	+7	+13%	56			
合計		126	142	+16	+13%	126			

決算実績 (億円)						'25/3-1Q (IFRS)	'26/3-1Q (IFRS)	増減	'25/3-1Q (日本基準)
売上収益*1		7,530	7,799	+269	+4%	7,480			
営業利益		791	572	▲219	▲28%	769			
税引前利益*2		864	642	▲222	▲26%	764			
親会社の所有者に帰属する当期利益*3		516	414	▲102	▲20%	469			

当社の製品カテゴリを示す用語について(P.17 の付表をご参照ください)

3 CV (Commercial Vehicle)：商用車（トラック及びバス）、LCV (Light Commercial Vehicle)：ピックアップトラック及び派生車

*1 日本基準における「売上高」を「売上収益」として表示しています。
*2 日本基準における「税金等調整前当期純利益」を「税引前利益」として表示しています。
*3 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」として表示しています。

第 1 四半期を総括して、ご説明します。

なお、今回が四半期決算としては初めて、国際財務報告基準（IFRS）による決算となります。前年同期の数値についても、全てIFRSによる決算値に置き換えておりますので、ご留意ください。

損益は、販売台数の増加・価格対応の推進によるプラス影響はありましたが、為替影響・仕向構成の悪化・資材費等の上昇によるマイナス影響が上回り、前年同期に対して減益となりました。

台数面では、CVの国内向けは想定線での台数増、海外向けは北米向けが在庫調整により台数減も、中近東・アフリカを中心に台数増となりました。LCVは、タイ／輸出共に台数増となりました。タイでは厳しい市況が続いていますが、在庫調整を実施していた前年同期からは台数増となっています。

為替実績は、記載の通りです。

2. 2026年3月期 第1四半期実績

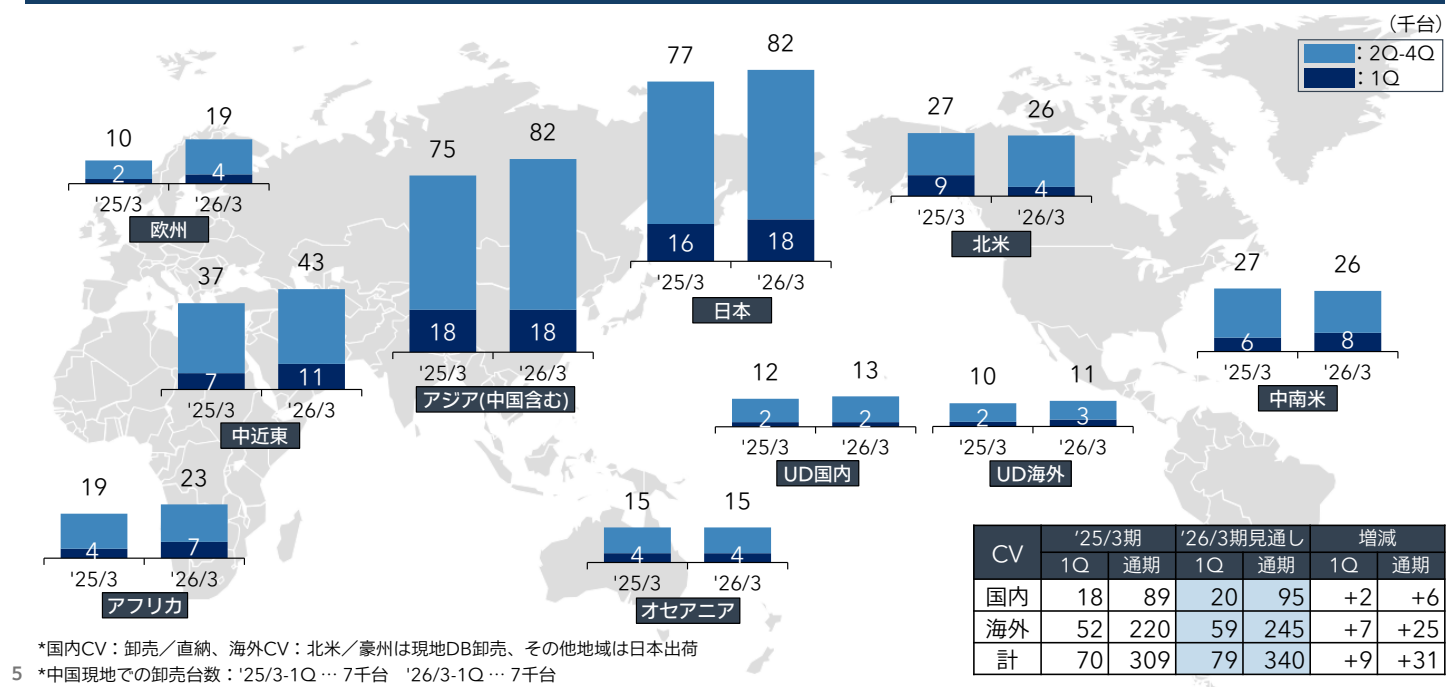
4

続きまして、26年3月期第1四半期実績についてご説明します。

CVグローバル販売台数実績

ISUZU

■ 1Q実績 国内：ほぼ想定線での台数増
海外：北米が販売サイドの在庫調整により台数減も、中近東・アフリカを中心に台数増



CVグローバル販売台数です。

国内向けは、ほぼ想定線での台数増となりました。

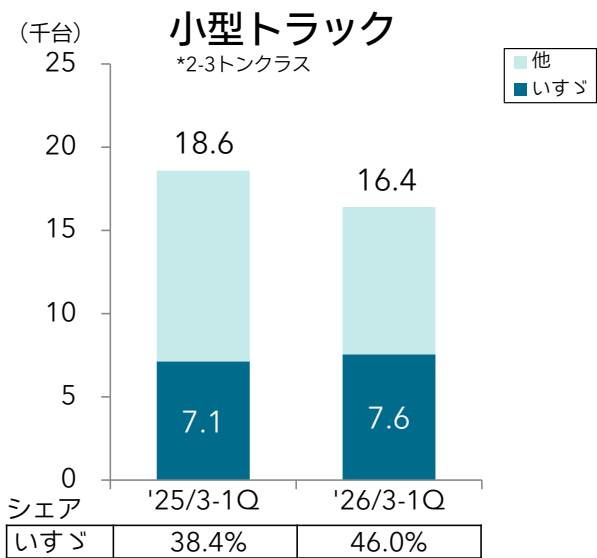
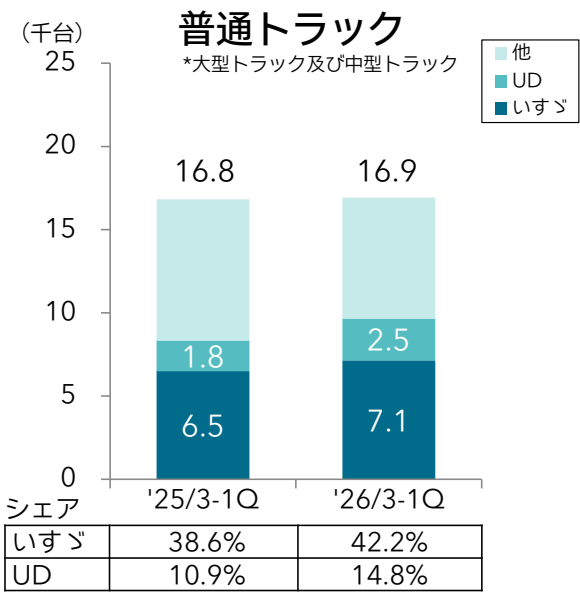
海外向けは、北米向けが販売サイドの在庫調整により台数減となったものの、中近東・アフリカを中心に、全体では台数増となりました。

北米の在庫調整による影響は、期初計画に織り込み済みであり、第1四半期の販売台数は、想定線で推移しています。

国内トラック 全需・シェア実績

ISUZU

- 全需：他社影響により、普通トラックは前年同期並、小型トラックは減少
- シェア：普通トラック／小型トラック共に増加



国内の全需及びシェア実績です。

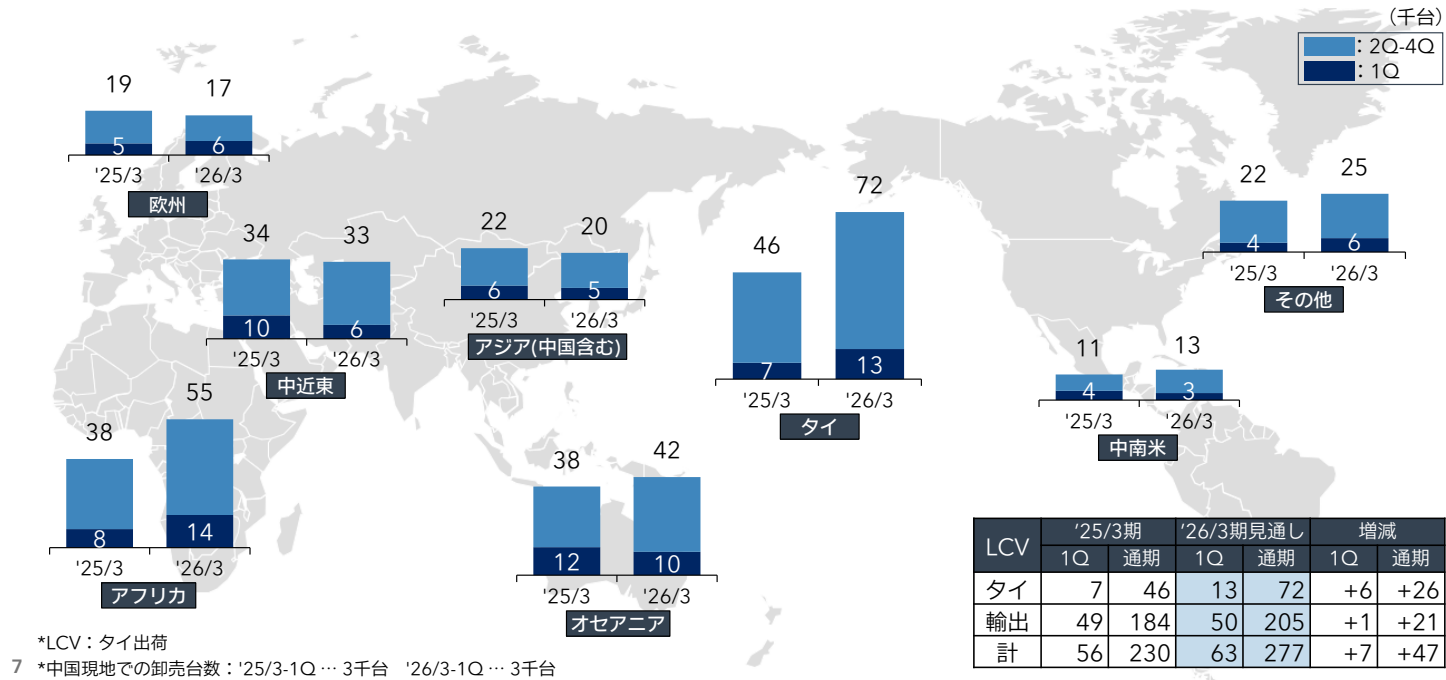
全需は、いすゞ・UD共に台数増となりましたが、他社影響により、普通トラックは前年同期並、小型トラックは減少しました。

シェアは、普通トラック／小型トラック共に増加しました。

LCVグローバル販売台数実績

ISUZU

■ 1Q実績 タイ：厳しい市況が続くが、販売サイドの在庫調整を実施した前年同期からは台数増
輸出：中近東は台数減も、アフリカを中心に台数増



LCVグローバル販売台数です。

タイ国内向けは、厳しい市況が続いていますが、販売サイドの在庫調整を実施した前年同期からは台数増となりました。

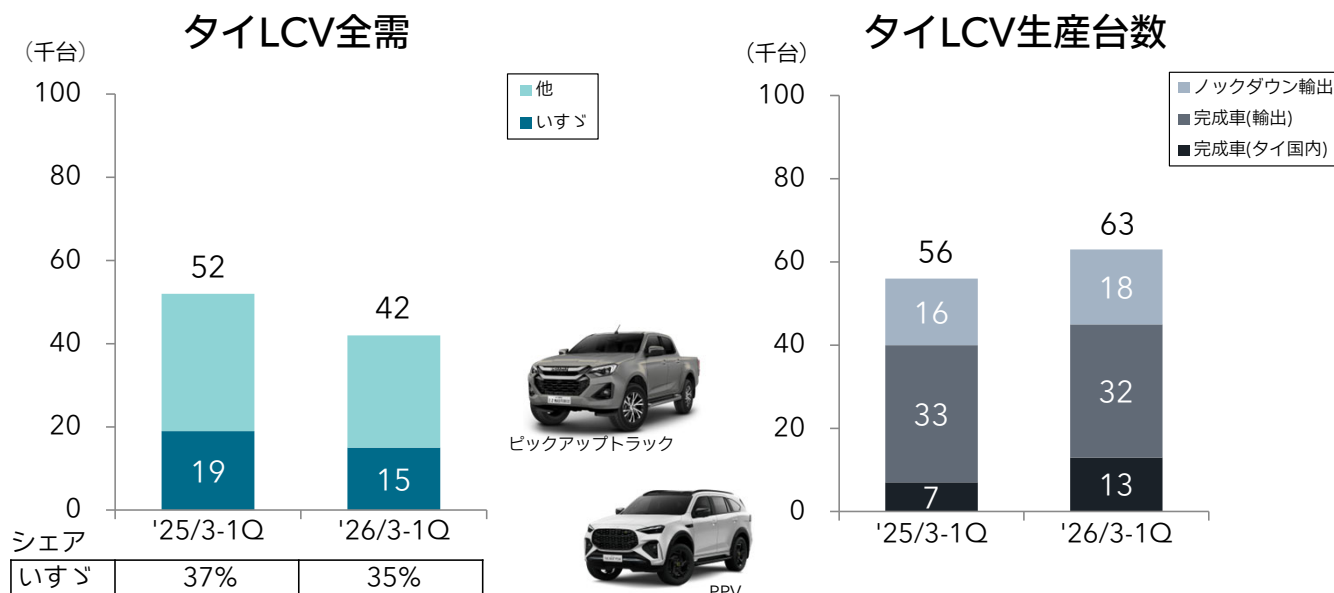
輸出向けは、サウジアラビアでディーゼル燃料価格の上昇による需要減少を受けて、中近東向けが台数減も、市況が回復したエジプトを中心に、アフリカ向けは台数増となりました。

タイLCV 全需・シェア実績／生産台数実績

ISUZU

- 全需：PPV*1は前年同期並も、ピックアップトラックは台数減の厳しい状況
- 生産台数：前年同期に販売サイドの在庫調整を実施していたタイ国内向けを中心に増加

※1 PPV：Pick-up Passenger Vehicle の略称で、ピックアップトラックの派生車(当社の製品カテゴリを示す用語については、P.17 の付表をご参照ください)



タイのLCV全需、シェア、及び生産台数実績です。

全需は、パーソナルユースが中心のPPVは前年同期並も、コマーシャルユースが中心のピックアップトラックは依然として台数減と、厳しい市況が続いています。

第1四半期の小売台数は想定線でしたが、足元でも需要回復の兆しが見えないこと、想定外の政情不安とそれに伴う支援策の遅れへの懸念もあることから、下期からとしていた回復時期について、精査を進めているところです。

生産台数は、タイ国内向けを中心に増加しました。

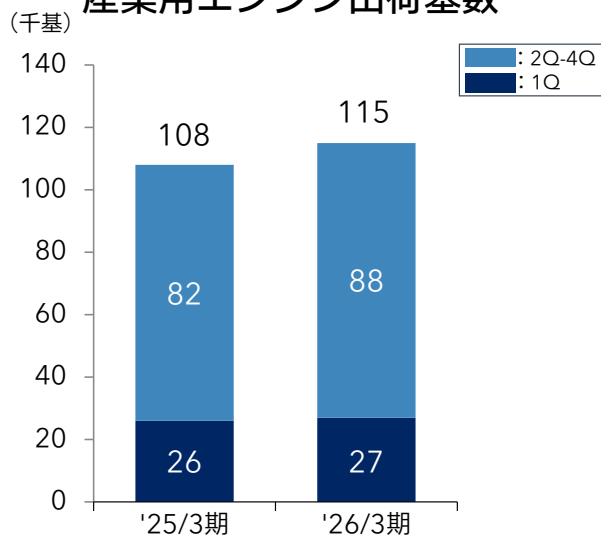
ISUZU

産業用エンジン出荷/アフターセールス売上実績

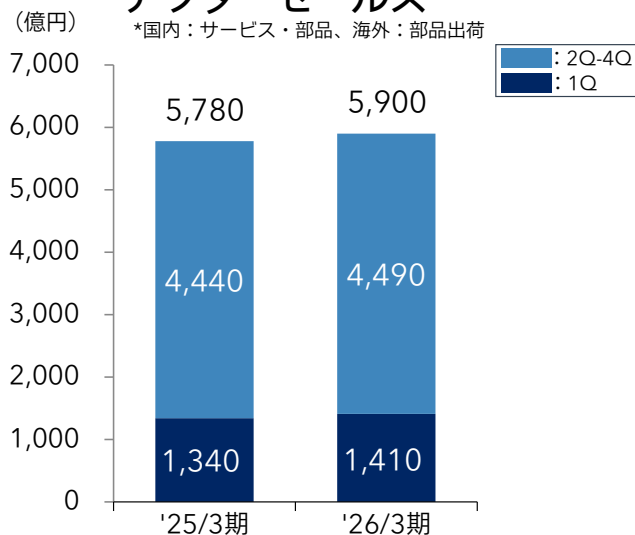
ISUZU

- 産業用エンジン：想定線で推移しており、前年同期から若干の増加
- アフターセールス：国内／海外共に順調に進捗しており、前年同期から +70億円の増加

産業用エンジン出荷基数



アフターセールス



産業用エンジン、アフターセールスです。

産業用エンジンの出荷実績は、想定線で推移しており、前年同期から若干の増加となりました。

アフターセールス売上は、国内／海外共に順調に進捗しており、前年同期から +70億円の増加となりました。

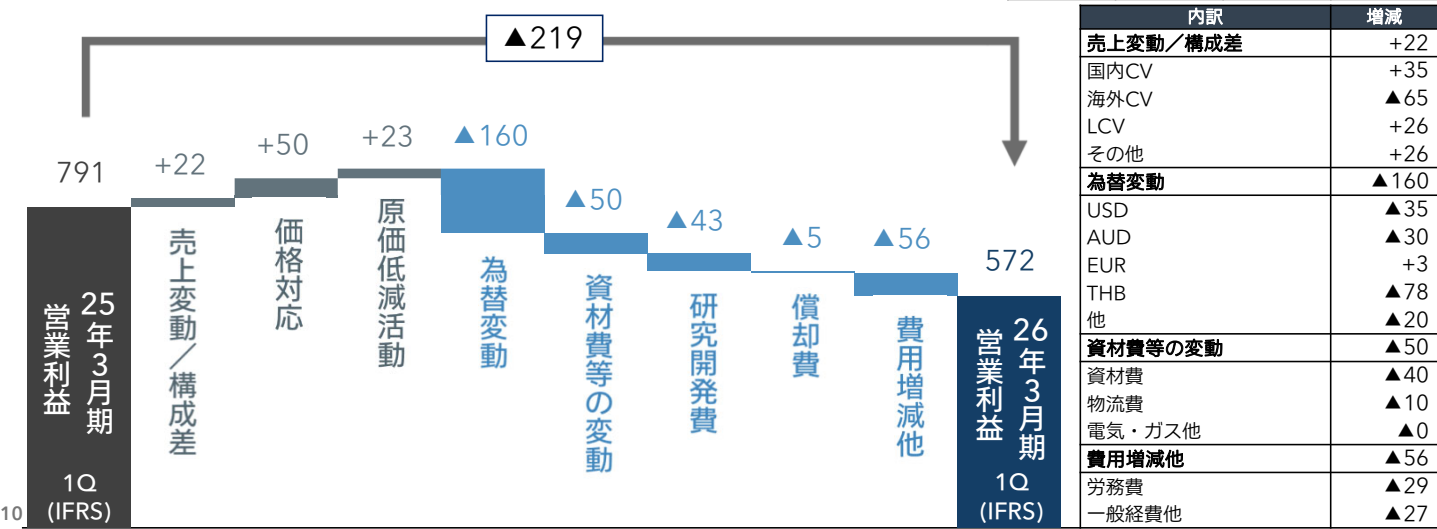
'26年3月期 第1四半期 営業利益増減分析 - 前年同期比 -



■ CV/LCVの台数増・価格対応の推進によるプラス影響に対して、円高/パーツ高影響・仕向構成の悪化・資材費等の上昇・費用増によるマイナス影響が上回り、▲219億円の減益

(億円)

為替実績	'25/3-1Q	'26/3-1Q	増減
USD/JPY	155.8	144.5	▲11.3
AUD/JPY	102.7	92.7	▲10.0
EUR/JPY	167.8	163.9	▲3.9
THB/JPY	4.25	4.37	+0.12



続きまして、26年3月期第1四半期の営業利益 増減分析になります。

損益は、CV/LCVの台数増、価格対応の推進によるプラス影響はあるものの、円高/パーツ高の影響、仕向構成の悪化、資材費等の上昇、費用増によるマイナス影響が上回り、前年同期比で▲219億円の減益となりました。

米国の関税影響については、第1四半期の損益影響は軽微であり、後半期を中心に計上を見込んでいます。

為替実績は上段に記載した通りです。



'26年3月期 第1四半期決算実績 - 前年同期比 -

ISUZU

(億円)	'25/3-1Q (IFRS)	'26/3-1Q (IFRS)	増減		<参考値> '25/3-1Q (日本基準)
売上収益*1	7,530	7,799	+269	+4%	7,480
営業利益	791	572	▲219	▲28%	769
税引前利益*2	864	642	▲222	▲26%	764
親会社の所有者に帰属する当期利益*3	516	414	▲102	▲20%	469

*1 日本基準における「売上高」を「売上収益」として表示しています。

*2 日本基準における「税金等調整前当期純利益」を「税引前利益」として表示しています。

*3 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」として表示しています。

	'25/3-1Q (IFRS)	'26/3-1Q (IFRS)
営業利益	791	572
持分法による投資損益	+16	+28
金融収支	+57	+42
税引前利益	864	642
法人所得税費用	▲224	▲139
非支配持分に帰属する当期利益	▲124	▲89
親会社の所有者に帰属する当期利益	516	414

	<参考値> '25/3-1Q (日本基準)
営業利益	769
持分法による投資損益	+13
為替差損益、受取配当金、利息等	+50
経常利益	832
投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	▲4
事業再編関連損失	▲64
税金等調整前当期純利益	764
法人税等	▲170
非支配株主に帰属する当期純利益	▲125
当期利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	469

11

営業利益以下の説明です。

税引前利益は、営業利益572億円から、持分法による投資損益、金融収支などを加減し、642億円となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、税引前利益642億円から、法人所得税費用、非支配持分に帰属する当期利益などを加減し、414億円となりました。

これをもちまして、いすゞ自動車株式会社2026年3月期第1四半期 決算説明を終了します。

ご視聴いただき、有難うございました。

ISUZU

地球の「運ぶ」を創造する

ISUZU

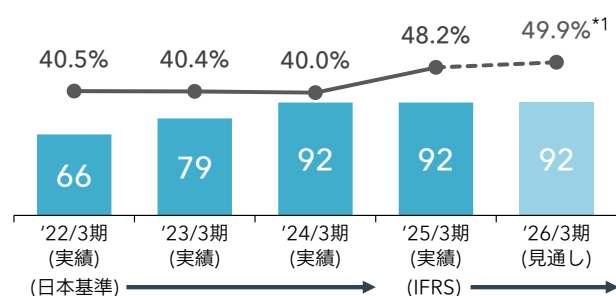
(付表) 全体総括 株主還元・資本効率について

ISUZU

配当金・配当性向推移

(単位：円)

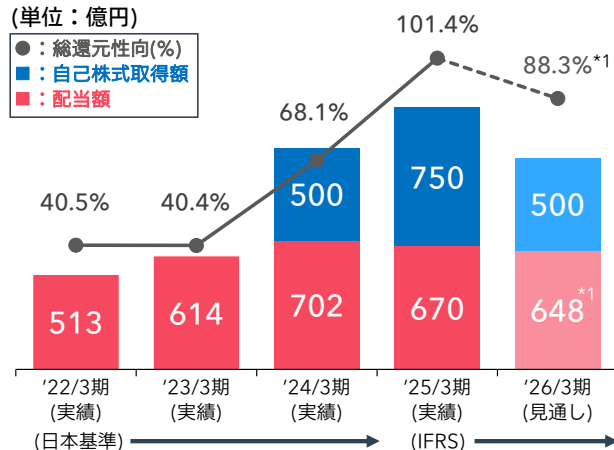
●：配当性向(%)
■：1株当たり配当金



株主還元総額・総還元性向推移

(単位：億円)

●：総還元性向(%)
■：自己株式取得額
■：配当額

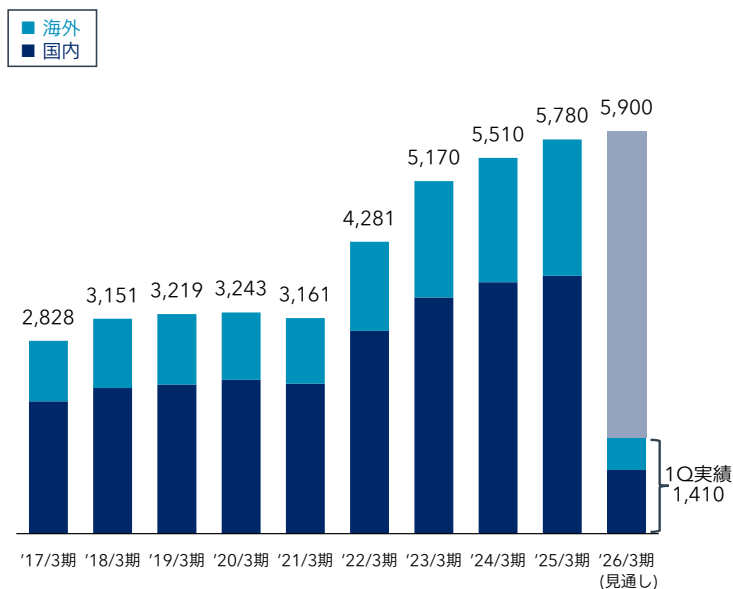


*1：25年7月末時点の自己株式数を基に算出

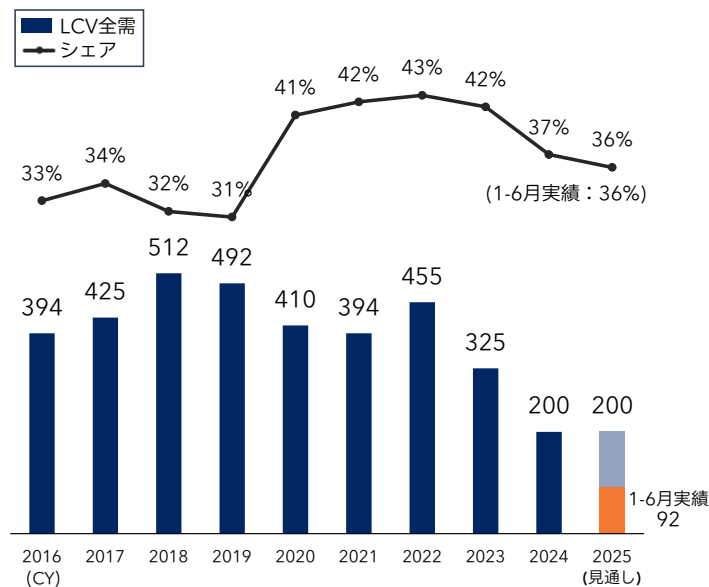
(付表) アフターセールス売上／タイLCV全需・シェア 推移

ISUZU

アフターセールス売上推移 (単位：億円)

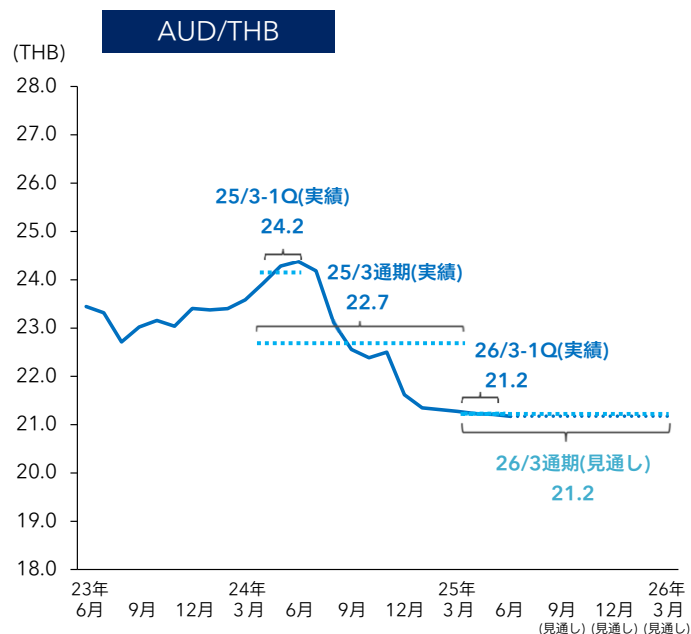
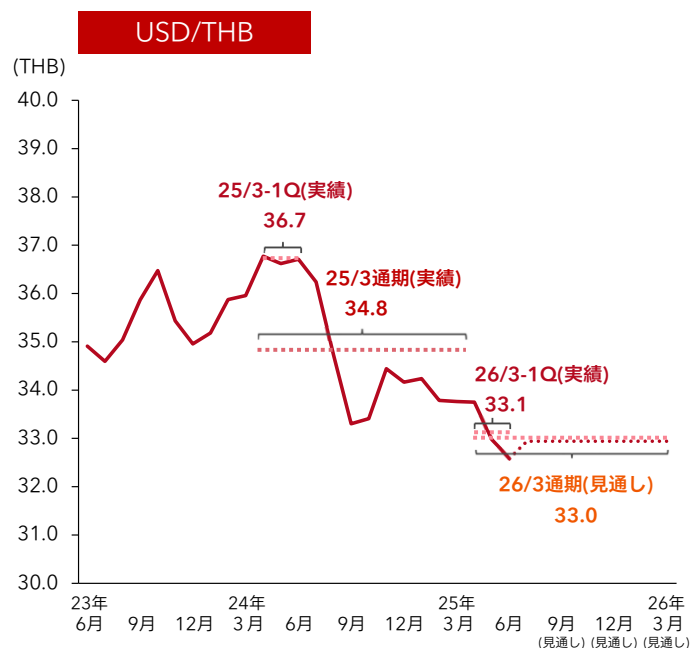


タイLCV全需・シェア推移 (単位：千台)



(付表) USD/THB、AUD/THB 為替レート推移

ISUZU



(付表) '25年 3 月期 会計基準変更影響

ISUZU

(億円)

	'25/3-1Q		
	日本基準	IFRS	変更影響
営業利益 (会計基準 変更前)	769	769	-
のれん償却廃止	-	+10	+10
開発費資産化	-	▲3	▲3
営業外損益・特別損益から営業損益に表示組替	-	▲5	▲5
その他 営業利益調整項目	-	+20	+20
営業利益 (会計基準 変更後)	769	791	+22
持分法投資損益	+13	+16	+3
金融収支	+47	+57	+10
金融収支以外の営業外損益	+3	-	▲3
経常利益	832		
固定資産売却損益等の特別損益	▲8	-	+8
投資有価証券売却損益	+4	-	▲4
事業再編関連損失	▲64	-	+64
税引前利益 *1	764	864	+100
法人所得税費用	▲170	▲224	▲54
非支配持分に帰属する当期利益	▲125	▲124	+1
親会社の所有者に帰属する当期利益*2	469	516	+47

	'25/3 通期		
	日本基準	IFRS	変更影響
営業利益 (会計基準 変更前)	2,291	2,291	-
のれん償却廃止	-	+40	+40
開発費資産化	-	+7	+7
営業外損益・特別損益から営業損益に表示組替	-	▲27	▲27
その他 営業利益調整項目	-	▲16	▲16
営業利益 (会計基準 変更後)	2,291	2,295	+4
持分法投資損益	+103	+92	▲11
金融収支	+81	+63	▲18
金融収支以外の営業外損益	+8	-	▲8
経常利益	2,482		
固定資産売却損益等の特別損益	▲35	-	+35
投資有価証券売却損益	+18	+1	▲17
事業再編関連損失	▲64	-	+64
税引前利益 *1	2,401	2,450	+49
法人所得税費用	▲654	▲640	+14
非支配持分に帰属する当期利益	▲403	▲409	▲6
親会社の所有者に帰属する当期利益*2	1,344	1,401	+57

*1 日本基準における「税金等調整前当期純利益」を「税引前利益」として表示しています。

*2 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」として表示しています。

(付表) 本資料で使用している当社の製品カテゴリを示す用語について

ISUZU

CV (Commercial Vehicle)

- トラック及びバスの総称
- トラックは、主に日本を拠点に生産・輸出（いすゞ拠点：神奈川県 藤沢工場、UDトラックス拠点：埼玉県 上尾工場）
- バスは、日野自動車との合併企業であるジェイ・バスで生産され、いすゞ/日野の両ブランドで販売

<主なラインナップ>



大型トラック「ギガ/クオン」



中型トラック「フォワード」



小型トラック「エルフ」



路線バス「エルガ」



観光バス「ガーラ」

LCV (Light Commercial Vehicle)

- 1トン積みピックアップトラック、及び同車をベースにしたPPV(Pick-up Passenger Vehicle)の総称
- 主にタイを拠点に生産・輸出

<主なラインナップ>



ピックアップトラック「D-MAX」



PPV「MU-X」

(付表) 販売台数の集計ポイントについて



連結販売台数：決算短信の「連結販売実績」に記載される台数

